

## 平成 21 年度 日本リハビリテーション医学会論文賞 選考結果のお知らせ\*

平成 21 年度論文賞選考委員会 担当理事 出江 紳一  
委員長 長岡 正範  
委員 青柳陽一郎, 荏原実千代, 加賀谷 斉  
河村 顕治, 長屋 政博, 橋本 圭司  
原 行弘, 宮井 一郎, 森田 定雄

日本リハビリテーション医学会には論文賞の表彰制度があり, 論文賞選考内規 (学会誌 38 巻 211 頁, 2001 年) に基づいて, 毎年論文賞選考委員会を発足させ, 選考作業を行っております。

平成 21 年・学会誌 46 巻掲載の対象論文 9 編 (原著 4 編, 短報 5 編) に対し, 各選考委員がテーマの独創性・重要性, 研究・デザイン, データの提示, データの解釈, 論文の完成度の各項目について 3 段階で採点し, 採点結果を集計いたしました。平成 22 年 2 月 19 日に論文賞選考委員会を開催し, 最優秀論文賞, 優秀論文賞の各賞を選考しました (34 歳以下対象の奨励論文賞は該当者なし)。選考結果は理事会に報告され, 承認を受けた上で, 平成 22 年 5 月 20 日の第 47 回日本リハビリテーション医学会学術集会総会場で, 理事長から受賞者に賞状ならびに目録が授与されました。受賞論文を下記にご報告いたします。

優れた研究成果を本誌にご投稿くださいました会員各位に心からお礼申し上げます。公平な選考が行われたことをご報告いたしますとともに, 是非, 多くの投稿を今後も本誌にお寄せいただき, リハビリテーション医学の発展にご協力いただけますよう, お願い申し上げます。

## ◎最優秀論文賞: 近藤和泉 氏

近藤和泉, 寺西利生, 岩田 学, 園田 茂, 才藤栄一: Reliability Study of Gross Motor Function Classification System and Delphi Survey of Expert Opinion for Clinical Use of this System in Japan. Jpn J Rehabil Med 2009; 46: 519-526

## ◎優秀論文賞: 渡邊 修 氏

渡邊 修, 山口武兼, 橋本圭司, 猪口雄二, 菅原 誠: 東京都における高次脳機能障害者総数の推計. Jpn J Rehabil Med 2009; 46: 118-125

## ◎優秀論文賞次点: 豊倉 穰 氏

豊倉 穰, 菅原 敬, 林 智美, 西村葉子, 村山理恵: 家族が家庭で行った注意障害の行動観察評価—BAAD (Behavioral Assessment of Attentional Disturbance) の有用性に関する検討—. Jpn J Rehabil Med 2009; 46: 306-311

\* 論文賞選考結果の報告は例年 7 号に掲載しています。ご報告が遅れましたことをお詫び致します。